

案を提案してあります。

第二に公債費が、対前年比で一四・四％増の十億八百万円余りで、予算規模の一九・五％を占めるまでに、普通交付税の見込み額に近づいてきましたので、減債基金制度を検討する考えです。

公債費の増加は、市の総合計画にそった事業執行もありませんが、一面、国の景気対策、財源対策上の特例によることも多いわけですので、国に対して、これらの措

### 具体的な施策方針

上越新幹線の開通。毎年、着実に伸長する高速交通体系に対応し、地域における社会経済、並びに生

置も強く要望してまいります。以上が新年度における一般会計予算編成の内容ですが、通年予算の建て前から本県計上しなければならぬ、一部事務組合の負担金は、財源となる特別交付税の性質上、当初予算計上を控え、その相

当額を保留しています。その結果、当初予算規模は五十一億八千三百万円。対前年比で九五・五％減の編成となりました。

活環境を向上発展させるためには、当市の大動脈、国道八号線を核とした主要道路と生活道路の整備を

一般会計主な仕事 (単位:万円)		
款	仕事名	
総務費	・住居表示整備	102
	・市議会議員選挙	736
	・参議院議員選挙	697
民生費	・身体障害者更生援護施設措置委託	847
	・精神障害者更生援護施設措置委託	3,223
	・身体障害者更生医療給付	550
	・重度心身障害者医療費助成	1,140
	・重度障害者福祉手当給付	2,051
	・老人ホーム入所措置委託	3,692
	・老人福祉センター補助	1,525
	・老人保健特別会計繰出金	5,130
	・高齢療養費貸付基金繰出金	1,000
	・児童手当	5,834
・生活保護費	17,220	
衛生費	・白根健生病院増築補助	1,000
	・妊産婦乳児医療費助成	604
	・一般健康診査・肺ガン・胃ガン・子宮ガン検診委託	1,234
	・白根衛生センター組合負担金	12,120
労働費	・勤労者福祉センター建設工事	3,972
農林水産業費	・農業近代化資金利子補給	712
	・災害融資利子補給	1,110
	・高生産農業育成対策事業補助	500
	・新地域農業生産総合振興事業補助	2,200
	・県営農道整備事業負担	2,742
	・新潟地域特殊排水事業負担	5,500
	・農村総合整備道路等工事	7,318
	・地籍調査委託	852
商工費	・商工会助成	500
	・地方産業育成貸付資金	9,200
	・中小企業近代化貸付資金	18,000
	・商工中企預託	3,000
土木費	・道路新設改良工事	8,035
	・道路用地買収	597
	・県道改良工事負担	2,000
	・除雪機械借上	500
	・都市下水道工事	7,070
	・用地買収	540
消防費	・県消防団員等公債組合負担	1,154
	・防火水槽設置工事	682
	・白根地区消防事務組合負担金	7,770
教育費	・文化財発掘調査	4,500
	・校具、教材等購入	1,002
	・小学校教科書改訂による教材購入	1,200
	・第1中学校通学バス年間委託	2,376

はかり、生産流通などの経済活動を活発にすることが重要です。加えまして、川に囲まれた本市にとりましては、水害から市民の生命財産を守ることは大きな使命で、治水対策にも深い関心を持って臨まなければなりません。ま

### 長期視点に立ち市道の整備

市内の道路網整備については、国道八号線を軸に、これに接続する主要道路の整備が急務です。国道八号線で継続中の歩道設置工事はもとより、主要道路では新津白根線の白井バイパスの工事促進。さらにこの延長線上にあり五

た、地盤沈下対策もゆるがせにできない重要な課題です。これら幾多の重要な課題に対処していくため、現下の厳しい行財政事情を踏まえながら、新年度で措置しました施策と予算の概要は、次のとおりです。

十七年度まで、市が事業主体として実施してきた、公共事業の古川諏訪木線の改良工事を、新年度から県事業として採択を願い、事業の促進がはかれるよう要請していきます。

同じく白根亀田線の公共事業特

に二千九百六十万円。道路舗装七百八十万円。同じく側溝工事費として四百六十万円。防護柵設置三百五十万円。土地改良区との共同事業分として一千万円。合計で、五千五百五十万円を、厳しい財政の中で措置しました。

残事業があり、これらの事業費の確保に努力していきます。五十八年度の事業費配分は明らかではありませんが、一億三百万円を計上し、道排水路、防火水槽などを、引き続き、整備する考えです。

農道整備事業については、継続実施中の庄瀬、赤波の農免農道を、五十八年度で完了するよう。また、戸頭、東笠巻農道事業も一層、促進されるように努め、これらに二千九百四十二万円を措置しました。

農道整備事業については、継続実施中の庄瀬、赤波の農免農道を、五十八年度で完了するよう。また、戸頭、東笠巻農道事業も一層、促進されるように努め、これらに二千九百四十二万円を措置しました。

設置の直轄で実施される予定です。また、中ノ口川堤防のせい弱か所については、県工事として護岸工事が継続実施される見込みです。今後とも、これらの事業が一層、促進されるよう、努力していきます。

58年度工事を待つ戸頭地区農免農道



### 大通地区で住居表示を実施

国土調査事業は、五十七年度末までに、計画面積の三三・二九平方分の約七四％に当たる二十四・五九平方分を完了しました。

五十八年度は山崎野の一部と高井野、北田中、根岸、高井野地、保坂の一平方分を、一千十八万二千円で実施します。

なほ、これまでに七か所、約二万二千平方分を児童公園として整備し、計画通りに進めてきました。公園整備事業は、今後は、地域開発などの状況を見ることにより、新年度は見合わせる事になりました。

新規事業として住居表示を実施します。大字名を使用している住居の表示や通称町名の使用などにより整備する方針です。

中ノ口川の立竹木の伐採については、新年度から味方橋下流で実施し、公共事業として継続実施している鷺ノ木大通川の河川環境整備についても促進に努めます。

また、下塩俵ニュータウン建設計画にそって、開発されている当該地域については、さらに土地需要が要請され、開発の気運が高ま

はかり、生産流通などの経済活動を活発にすることが重要です。加えまして、川に囲まれた本市にとりましては、水害から市民の生命財産を守ることは大きな使命で、治水対策にも深い関心を持って臨まなければなりません。ま

本市は川から受ける恩恵も大きい反面、水害の危険もまた大きいわけです。

五十八年度は、信濃川筋の庄瀬と大郷地区におきまして、引き続き、堤防低部対策築堤工事が、建

地盤沈下対策事業は、なお多くの事業量を残していますので、土地改良区とも連携を密にして、その促進を国、県に働きかけていき

### 治水利水対策にも努力